

経営比較分析表（令和3年度決算）

岐阜県 川辺町

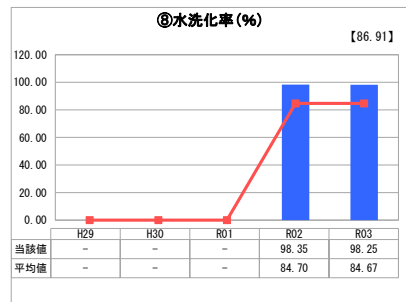
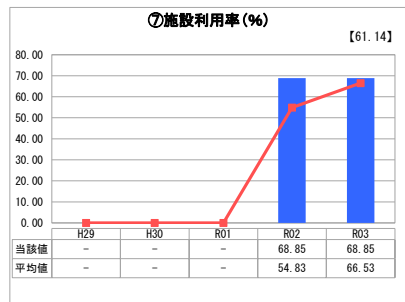
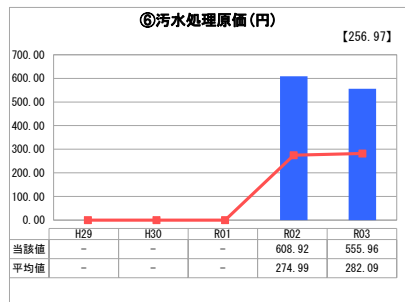
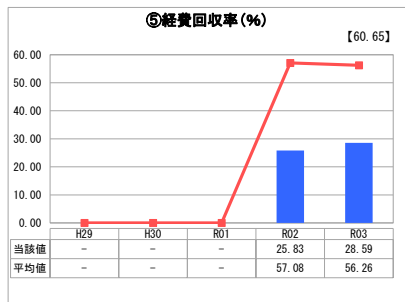
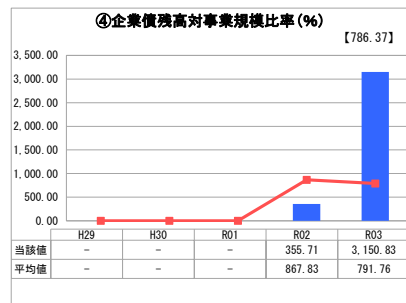
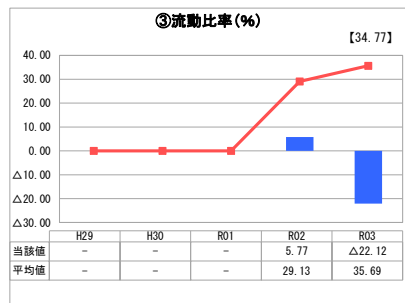
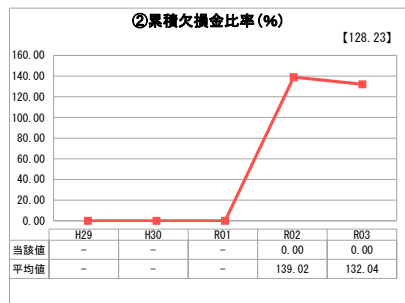
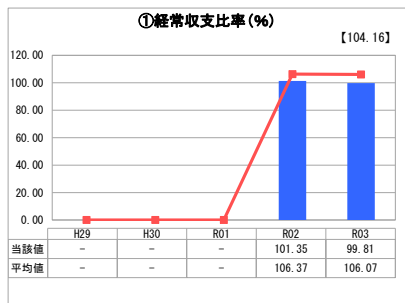
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	76.32	2.29	85.06	3,190

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,013	41.16	243.27
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
228	0.57	400.00

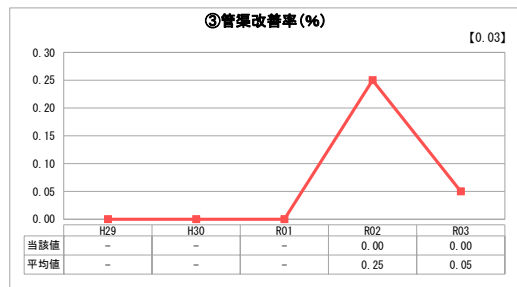
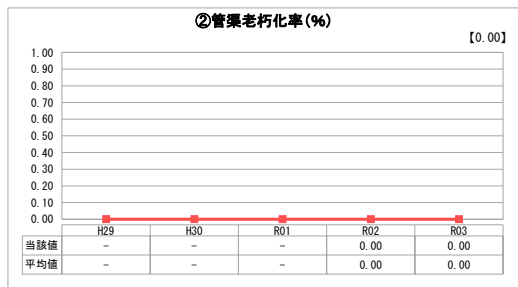
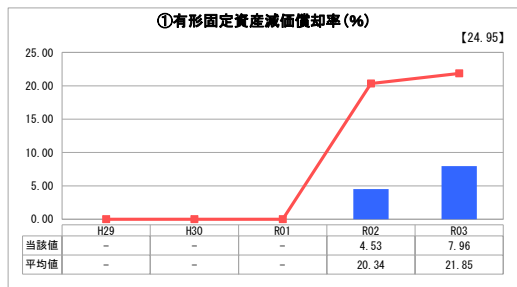
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

③類似団体と比較すると大きく下回っている。
元金償還については、公共下水道事業の補てん財源にて賄っているため、農業集落単体でみると流動資産がマイナスとなっている。

④類似団体と比較すると大きく上回っている。
使用料収入に限られているのに対し、企業債について一般会計からの繰入を行っていないため、比率が非常に高い。なお新たな企業債の借入予定はなく、令和10年度に償還が終了する予定である。

⑤類似団体と比較すると大きく下回っている。
処理区域内人口が少ないため使用料も少なくなり、使用料だけでは汚水処理費を賄っていない。

⑥類似団体と比較すると大きく上回っている。
処理区域内人口が少ないため有収水量が少なくなり、汚水処理原価が高くなっている。

2. 老朽化の状況について

①類似団体と比較すると大きく下回っている。
現在川辺町に存在する農業集落排水の施設のほとんどが、耐用年数を迎えていないため、平均と比べ低い数値となっている。

③類似団体と比較すると大きく下回っている。
管渠については耐用年数を迎えていないため、直ちに更新する必要がない。

全体総括

農業集落排水事業の経営は、使用料収入に限られていることから、一般会計からの繰入によりそのほとんどを賄っている。
農業集落排水事業では、新たな企業債の借入予定はなく、令和10年度に償還が終了する予定である。
処理場の維持管理に多額の費用を要しているため、令和7年度末に流域関連公共下水道に接続を完了し、維持管理コストの削減を図りたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。